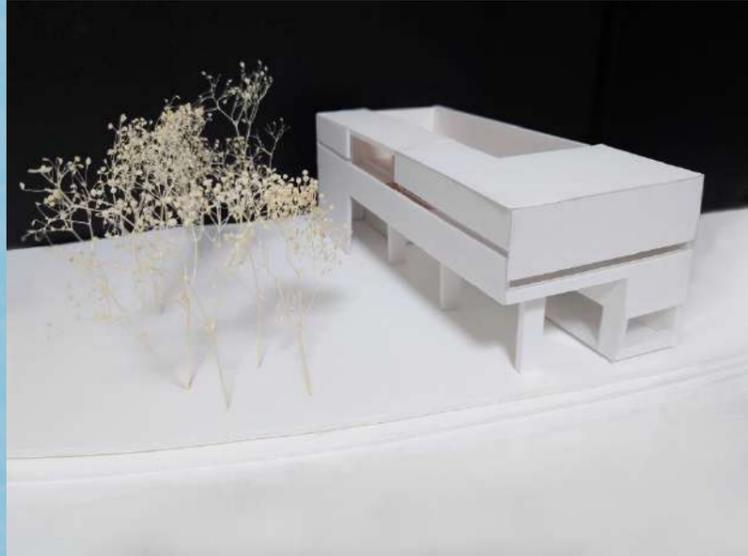


# 川辺の家

この敷地の特徴として、西側に水辺、道路を挟んで東側に神社、南西側に線路があり比較的に通車量が多い場所である。この家の住人は20代の单身男性とペットの猫である。休日には友人数名とわいわいと過ごし、猫ともゆったりとストレスなく楽しめる。騒がしい外部とゆったりと過ごす内部をはっきりと区別するため、交通量の多い道路と隣家側には窓を設けず水辺側と樹木側に設けた。広島は風災害が起りやすい地域として知られており、この地域は災害時の最大浸水想定内には含まれているが標準浸水想定内には含まれていない。駅に近く交通量の多い場所であるからこそ、災害物資などの備蓄や避難できる場所提供をしてもよいのではないかと考えている。さらに、コロナ禍においても自宅にいる時間を有意義に楽しいものにしようと思い、趣味部屋にはゲーム機器や音響機器を完備し同時に在宅ワークの場としても活用できるようなシンプルで広々とした空間とした。



川から建物を見る



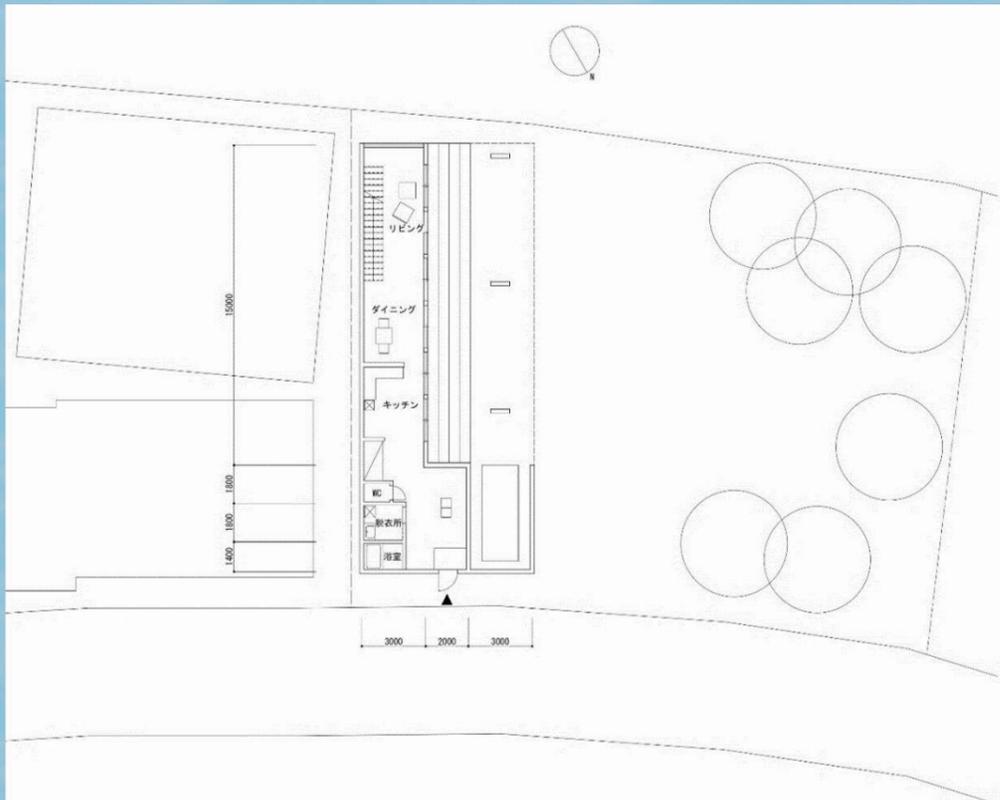
敷地周辺地図

下側が北である。

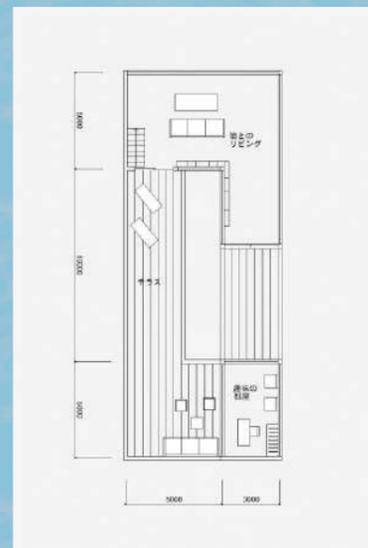


庭から建物を見る

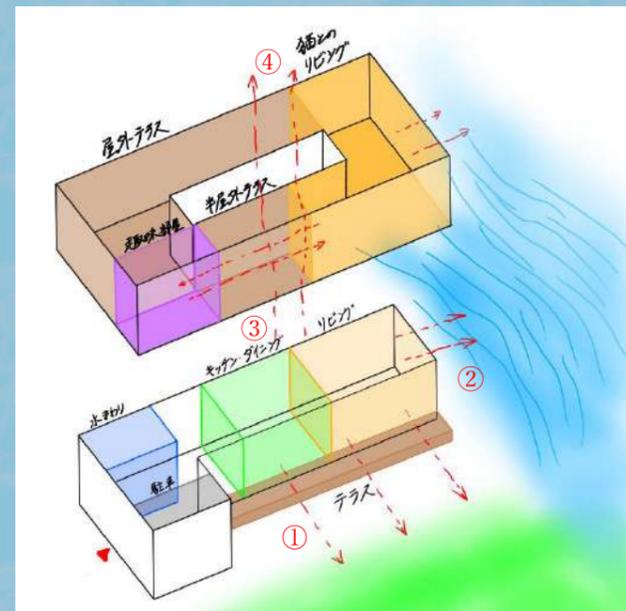
どの空間においても川や木々が目に入るように設計した。川、木に面するL字部分は開放的なつくりとし、特に1階は外部とつながっているような一体感のある空間となっている。縦方向に川、横方向に木々とのつながりがあり、それらの繋がりによって内部と外部との繋がりが生まれる。



1階平面図



2階平面図



Diagram

赤い点線は、人の視線部分を示している。

- ①庭を眺める
- ②川を眺める
- ③猫とのリビングと趣味部屋の視線が交差する
- ④空を眺める



猫とのリビング

壁のキャットウォークにより、日向ぼっこができる。

